

古い街並みを歩く

歴史を感じる古い街並みを歩いた。遠い昔にタイムスリップしたように感じた。心地よかった。何処となく落ち着きを感じる。ここは飛騨高山の観光名所になっている通りだ。なかでも国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「三町（さんまち）」は宮川右岸の上一之町、上二之町、上三之町界隈の総称である。

この高山の街並みを作ったのは 1585（天正 13）年に豊臣秀吉の命を受けひだを制圧した金森長近である。関ヶ原の戦いでは東軍に属して戦い、飛騨 3 万 8 千石を安堵される。こうして江戸時代の中期まで金森氏は高山城に 6 代 107 年間に渡って在城した。この間に高山の承認や職人は保護育成され大きな繁栄をもたらした。

11 月の末ともなれば日の入りは早い。まして山に囲まれた高山の日暮は瞬く間に暗くなってしまう。ここ三町の古い街並みの建物はいずれも黒っぽい色で統一されており、一層夜が早まったように思えた。しかし黒には落ち着きと重量感を感じさせるが、これは柿渋にベンサラとすすを混ぜた塗料で着色しているためである。統一的な独特の建物の町並は、日本国内外の人達にとって大きな魅力となっている。

先人たちによる情緒たっぷりの古き良き時代を味わいながら、ゆったりとした気分で時間に捉われず散策を楽しんだ。

撮影 2010 年冬

